



防災のことは研究会

「伝える」から「伝わる」へ。

テレビやラジオで放送される**気象情報**や**災害情報**を聞いたとき、「**むずかしいな**」、「**わかりにくいな**」と感じたことはありませんか？異常気象が続き、自然災害が増加している今、効果的な災害情報伝達は重要な課題となっています。

防災のことは研究会は、災害情報を伝える人と聞く人の両方の視点から、効果的に伝わる「**防災のことは（言語表現）**」と「**伝達方法**」について研究と調査を行い、その結果を現場で実践する団体です。



防災のことは研究会の
マスコット
「伝書鳩のピッポー」

ピッポー

2016年前半の主な行事

★4月15日（金） 18:00~20:00

関東地区 H28 年度第 1 回 研究発表会・討論会
「広島県危機管理課研修会の報告」

場所：東洋大学白山校舎 8号館 1F 地域連携推進室

★5月7日（土） 15:00~18:00

関西地区 H28 年度第 1 回 研究発表会・討論会
「効果的な避難勧告・指示の伝え方」

※ワークショップ・講演

場所：関西大学千里山キャンパス尚文館（大学院棟）
406 演習室

★6月10日（金） 18:00~20:00

関東地区 H28 年度第 2 回 研究発表会・討論会
「熊本地震の情報伝達・ことばの問題」

場所：東洋大学白山校舎 8号館 1F 地域連携推進室
～詳しくは、ホームページをご覧ください～

8月にはイベントを予定しています。

連絡先

代表理事 新井恭子

メール： arai-k@bousainokotoba.com

HP: <http://www.bousainokotoba.info>

★誰が何をしているのですか？

言語学・外国語学研究者、気象予報士、情報技術者、地震・津波研究者、マスメディア・広告・マーケティング・コミュニケーションの専門家など、様々な職種の人たちが集まって、「効果的な防災コミュニケーション」について、産学共同研究をおこなっています。また、地方自治体の防災課や、地域住民のコミュニティ、大学や学校などと協力して、防災情報伝達を中心に、防災リテラシーイベントも実施しています。

★伝える人のために何をしますか？

災害情報を出す側の仕事をしている人たちのために、「効果的な情報伝達方法」について、研究・調査を行い、定期的に研究発表会を実施しています。そして、現場での悩みや問題も出し合って討論し、解決策を探します。

★聞く人のために何をしますか？

災害情報を聞いた人が、内容をよく理解して、即座に正しい行動ができるように、一般の人たちを対象に、災害情報勉強会や防災イベント（ゲーム大会）など実施しています。また、気象・防災用語の解説冊子「やさしい防災のことは辞典」を作成しています。

入会希望の方（または団体）は、ホームページから、お申し込み下さい。入会条件・資格は特にありません。

